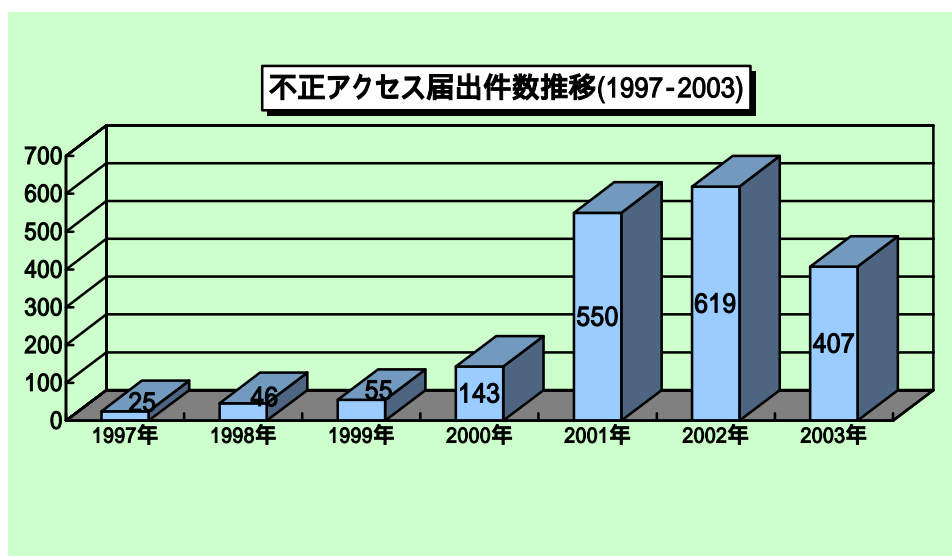


## 2003年不正アクセス届出状況

独立行政法人 情報処理推進機構(略称:IPA 理事長:藤原 武平太)は、2003年1月～12月の不正アクセス届出データを集計しました。

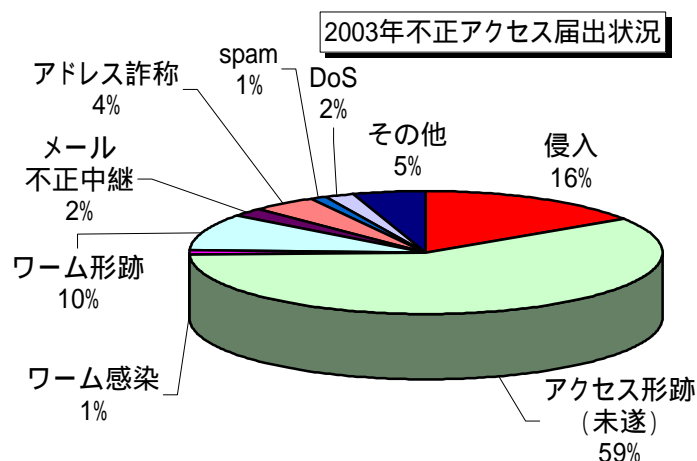
### 1. 届出件数

2003年の年間届出件数は**407件**となり、2002年の届出件数619件に対して**約34%減少**しました。なお、下記グラフは、過去7年間にIPAセキュリティセンターが受け付けた届出件数の推移を示したものです。



### 2. 届出種別

2003年は2002年と比べて、ほとんどの届出種別項目で届出件数が減少しましたが、**ワーム形跡の届出が若干増加**しました。これは、2003年8月に発生したW32/MSBlasterやW32/Welchiaが蔓延したためと推測されます。また、**spamメールに係る不正アクセス届出件数も若干増加**しました。



届出種別	2003年	2002年
侵入	64(64)	106(106)
アクセス形跡(未遂)	239	356
ワーム感染	5(5)	6(6)
ワーム形跡	39	34
メール不正中継	9(9)	16(16)
アドレス詐称	18(18)	49(49)
spam	5(5)	3(3)
DoS(サービス妨害)	8(8)	16(16)
その他	20(17)	33(29)
合計	<b>407(126)</b>	619(225)

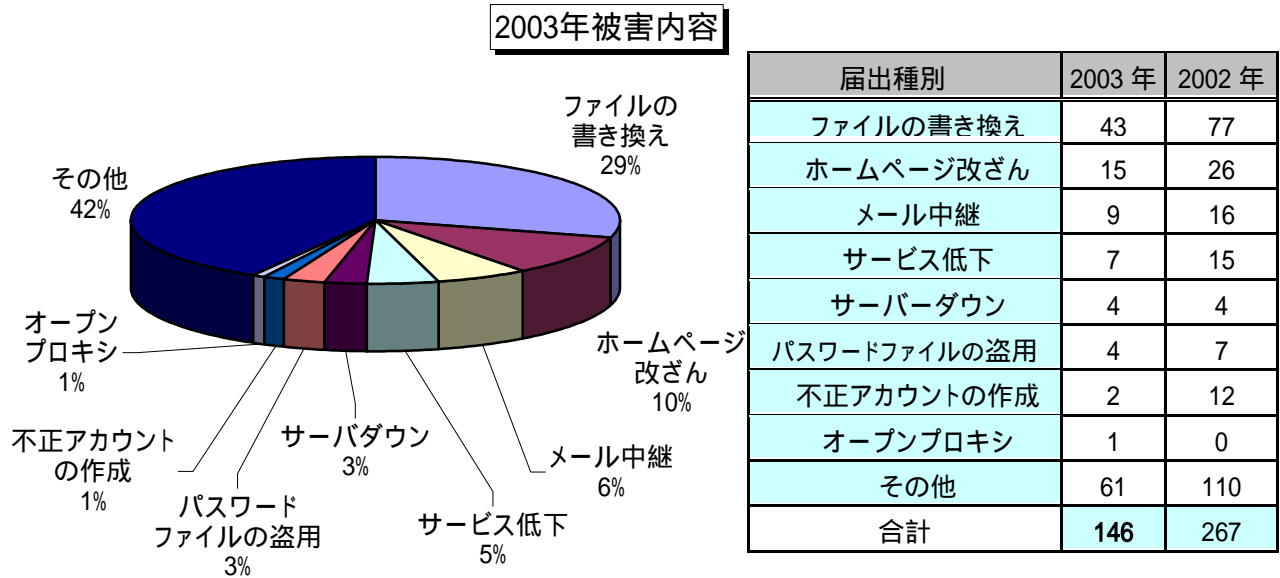
\*1)「アクセス形跡(未遂)」はサーバのログやファイアウォールのログに不正アクセスの痕跡があったもの

\*2)「ワーム形跡」はワームによるアクセスを検知したが、感染の被害を受けなかったもの

括弧内は実被害件数

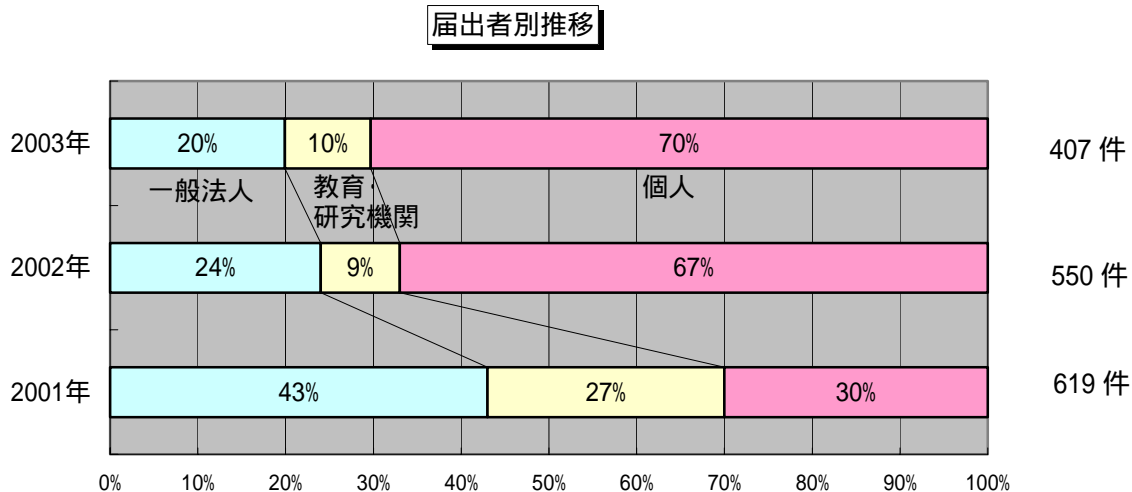
### 3. 被害内容

届出のうち実際に被害に及んだケースに関する被害内容の分類です。ほとんどの被害内容項目で減少しましたが、**ファイルの書き換え（プログラムの埋め込み含む）の被害件数が依然として最も多かったです**。また、侵入被害に遭っただけではなく、不正なプログラムによる他のサイトへの攻撃の**踏み台**とされた事例も多く見受けられました。



### 4. 届出者の分類

届出者別の内訳は、**個人からの届出の割合が2003年は70%となり、2002年の67%から更に増加しました**。その要因として、個人ユーザにおけるADSL、FTTHなどの**常時接続環境の普及、ネットワークゲームやファイル交換ソフトの普及**が背景にあると推測されます。



2003年8月に猛威を振るったW32/MSBlasterやW32/Welchiaのようなネットワーク経由で感染するワームが発生しましたが、例えOSにセキュリティホールが存在していたとしてもパーソルファイアウォール<sup>3</sup>を導入しているPCではワームによる感染を防ぐことが出来ました。従って、個人ユーザにおいてもパーソナルファイアウォールによる**対策は必須**と言えます。

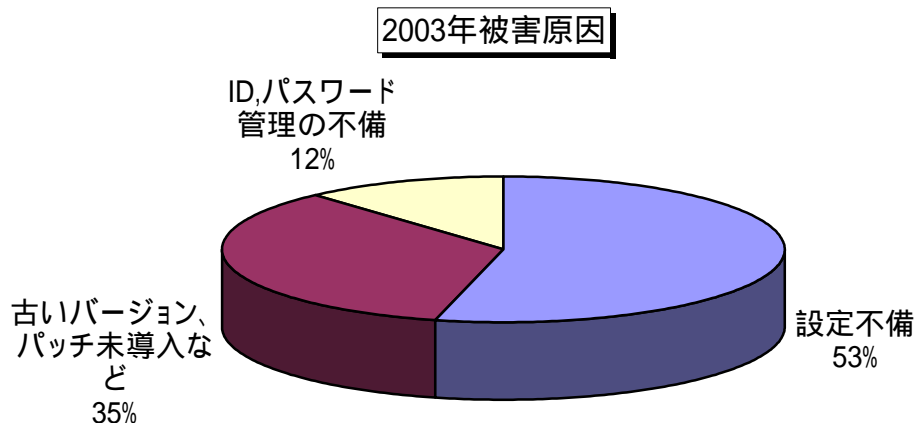
\*3) パーソナルファイアウォール：

個人のコンピュータがネットワークを介して外部から不正に操作されたり侵入されたりする事を防ぐためのソフトウェア又はハードウェアのこと。最近では、ウイルス対策用のソフトと一体で販売されている事が多い。

## 5. 被害原因

実際に被害にあった届出を原因別分類に見ますと、DoS(サービス妨害)、アドレス詐称や spam メールに係る不正アクセスなど必ずしも防御できない場合が 45%ありましたが、対策により防ぐことが出来たであろう被害の被害原因で最も多かったのは**設定不備**によるもので、過半数を占めています。

セキュリティホールへの対策は浸透しつつあるものの、設定や ID・パスワード管理への対策が不十分であると推測されます。



従って、今後の不正アクセス対策として、システム管理者は**ルーターやファイアウォールなどの設定やアクセス制御設定**を適切に行うよう徹底してください。また、依然として深刻なセキュリティホールが発見されていますので、インストールされている OS やアプリケーションに関する**セキュリティ情報の収集及びセキュリティパッチ<sup>\*4</sup>の適用**も併せて実施してください。

(対策方法については「7. 対策情報 システム管理者向け」参照のこと)

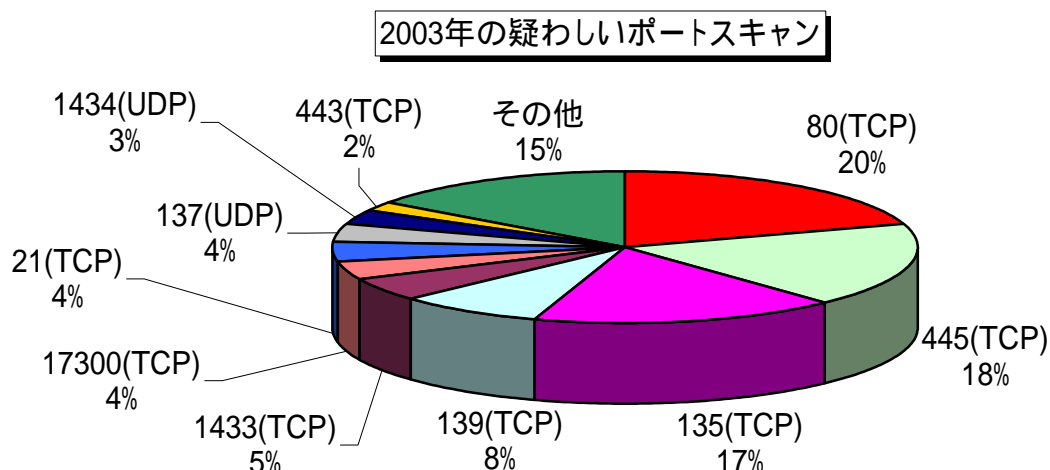
また、個人ユーザにおいても ID・パスワードの設定や共有設定、無線 LAN のセキュリティ設定がなされているかを確認していただくと共に、OS やアプリケーションソフトの**アップデートやバージョンアップの実施**も徹底してください。

(対策方法については「7. 対策情報 エンドユーザ・ホームユーザ向け」参照のこと)

\*4 )セキュリティパッチ:セキュリティ上の欠陥を修復するプログラム

## 6. 2003 年年間のネットワーク観測状況

IPA が試験的に運用しているサーバーの各ポートへのアクセス状況を観測したデータです。



## 7. 対策情報

上述のように、基本的な(既知の)対策をとっていなかったために被害にあってしまったものが依然として多く見受けられます。下記ページなどを参照し、今一度状況を確認し対処してください。

### システム管理者向け

- ・「セキュリティ対策セルフチェックシート」  
<http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/checksheet.html>
- ・「コンピュータ不正アクセス被害防止対策集」  
<http://www.ipa.go.jp/security/ciadr/cm01.html>
- ・「セキュリティ脆弱性情報」  
<http://www.ipa.go.jp/security/news/news.html>

### エンドユーザ・ホームユーザ向け

- ・「情報セキュリティ対策実践情報 エンドユーザ・ホームユーザ向けのページ」  
<http://www.ipa.go.jp/security/awareness/end-users/end-users.html>
- ・「パソコンを守るための3つの手順」(マイクロソフト社)  
<http://www.microsoft.com/japan/security/protect/default.asp>

#### お問い合わせ先

独立行政法人 情報処理推進機構 セキュリティセンター

Tel:03-5978-7508 Fax:03-5978-7518 E-mail:isec-info@ipa.go.jp